

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クラスルームなないろ			
○保護者評価実施期間	令和7年3月3日		～	令和7年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和7年3月3日		～	令和7年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・自閉症の学習スタイルに合わせた発達支援 ・自己認知支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマルアセスメントの他、日常的なインフォーマルアセスメントを大切に、実証されている介入方略を組み合わせて支援プログラムを組んでいる。 ・個別セッションを中心に、長期休みにはグループセッションを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等へ参加し、知識や技術のブラッシュアップに努める。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や関係機関との協働 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時の報告、面談、電話、メール、連絡ノート等を通して随時相談に応じている。 ・般化を意識し、お子さんへの関わりや対応について助言。必要に応じて支援ツールを作成し、提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家庭によって相談しやすい環境や媒体が異なるため、できる限りご要望に合わせて対応していく。 ・お子さんの自閉症の学習スタイルや発達課題を共通認識できるよう、今後も情報共有を密にしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリやSNS等を活用しておらず、保護者とのやりとりが紙ベース。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページはあるが、あまり更新できていない。また、個人情報等の観点からホームページにはお子さんの写真はあまり使わず、全体的なお知らせが中心。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリやSNS等に関しては今すぐの導入は考えていないが、できる限りお子さんの活動の様子や支援状況を保護者と共有できるよう、写真や動画等を活用する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 クラスルームなないろ

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 12

回収数 8

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4			4	・なないろでの支援のおかげで中学校で他のこども達と交流・活動できました。 ・現在の支援内容で充分だと感じているので、左記のような交流機会があったとしても必要性を感じません。	・地域の学校の通常級・支援級に在籍している方が多く、普段の学校生活の中で他のこどもと活動する機会も多いため、事業所としては予定しておりません。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7			1	・きょうだい向けのイベント・交流の機会はないかもしれないが、きょうだいへの支援に関しては気軽に相談でき助言も受けている。	・きょうだい児向けのイベント等は予定しておりませんが、きょうだい児へのサポート等については随時ご相談をお受けしていますので、今後も気になることがあればお声がけください。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8				・病院やカウンセリングの予約がとりづらい中、困り事が生じた時にきめ細やかな対応を迅速にさせていただくことで、心の安定を維持させてもらうことが多いです。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7			1		・ホームページのブログにて自己評価の結果やお知らせ等を発信しております。また、必要に応じて、書類の配布、玄関への掲示、連絡ノート等を通して情報発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1	・訓練をしているかどうかわからない。	・事業所としては年に数回、地震・火災・水害等を想定した避難訓練を実施しております。今後は全員が参加できるように計画を立てていきます。また、災害に備えて避難の仕方や避難情報を個別に教えるようにします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			2	〃	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8					・ご意見ありがとうございます。今後もご家庭と協働しながらお子さんの成長に寄り添っていきたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8					
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				・いろいろ困難なことはありましたが、サポートのおかげで1年間学校に通うことができました。 ・ここ以上に良いところはないのでは？と思っています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クラスルームなないろ				公表日	令和7年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・支援場所が2階であり、階段には手すりをつけている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・支援計画には必ず全職員が目を通して		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・評価を基に改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・会議の他、日頃から話し合いをして改善できるよう努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		・今後検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・法人内・外ともに、職員が希望する研修には参加できるようにしている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・全職員で話し合い、作成・公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・フォーマルアセスメント及び日常的にインフォーマルアセスメントを行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・子どもの発達に応じてプログラム編成している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・長期休みにはグループセッション等を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・その都度実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・定期的に訪問したり連絡をとりあって情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		・地域の小学校・中学校・高校に在籍する子が大半であるため、事業所の活動としては考えていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・送迎時に報告・相談の時間を設けている他、希望がある時は随時面談を実施。また、必要に応じて連絡ノートも活用している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・外部で行われているペアトレ等の研修を紹介している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		・計画作成時、モニタリング時期に定期的に面談を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・定期的な面談の他、毎回の利用時の報告、電話、メール等を通して随時相談をお受けしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4		・保護者会については年に1回実施している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・随時速やかに行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		・個別活動のため通信等は予定していないが、事業所としてのお知らせや情報はホームページのブログや書面等で周知している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・アンケートと同意書に基づき実施している。その他、必要なことは随時確認している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・日々の報告や連絡ノートの他、電話やメール、オンライン等も活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	・行事への招待はないが、近隣の道路の除雪をしたり、掲示板を設置したりしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・保護者に確認している。事業所からの食事提供はしておらず、おやつも家庭から持参していただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・研修や避難訓練を実施している。また、建物内外に危険箇所がないか、項目に基づいて定期的に点検している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・計画策定時に説明している他、いつでも閲覧できるよう玄関にも設置している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・事業所内での研修は年に数回実施し、外部研修にも参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・必要なお子さんには支援計画に記載し、保護者の同意を得ている。		